

SENSITIVE LOVE



La Belle et la Bête



●ローマを舞台に、男と女の出逢いと別れ——。ヴィットリオ・デ・シーカ監督のやめ細かな恋愛描写が光る！

終着駅

3/5(土) ▶ 3/18(金)

ジェニファー・ジョーンズ／モンゴメリー・クリフト
監督 ヴィットリオ・デ・シーカ／1959年／モノクロ



●ギリシャ神話のオルフェウス伝説をもとに、才人ジャン・コクトーが大胆に放つシュール・アリズム。

オルフェ

3/19(土) ▶ 4/2(土)

ジャン・マレー／マリア・カザレス／フランソワ・ペリエ
監督 ジャン・コクトー／1950年／モノクロ



●詩人J・コクトーが、ド・ボーモン夫人の童話を、自由奔放なイメージで展開するファンタジーの傑作。

美女と野獣

4/5(火) ▶ 4/22(金)

ジャン・マレー／ジョゼット・ティエ
監督 ジャン・コクトー／1946年／モノクロ



IMITUKOSHI
三越ロイヤル・シアター
八重洲1丁目 日本橋三越より徒歩2分 電話 03-272-2671

夜の駅だけを背景に、不倫の恋を断ち切つてアメリカへ帰る人妻に追いすがる青年との燃えさかる愛の情熱。

「終着駅」は「ひまわり」などの愛の巨匠デ・シーカが、ハリウッドのトップ・スターのふたりの共演でスクリーンを熱い涙で濡らす。

フランスが生んだ世界的詩人ジャン・コクトーは、斬新なファンタスティック映画の極致をひらいてきた。死

の女神に魅了され、死の世界にみちびきこまれても詩人「オルフェ」の妻への愛は堅く、死の女神にも打ち勝つ。野獣に愛され、醜い姿の下に真実の愛を見いだす清純な女性の愛のファンタジーは「美女と野獣」。コクトーの己作品は今でも若者たちの共感を呼び、主演者ジャン・マリーの彫刻的な男性美は若い女性ファンの胸をときめかせるだろう。

(日野 康一)

SENSITIVE LOVE



終着駅

STAZIONE TERMINI

むせかえる情緒をこめた恋愛映画不滅の傑作。ローマに完成したばかりのモダンな終着駅を舞台に、別離の悲しさがうたいあがられる。ローマを立とうとするアメリカ人の人妻を追い、ガイドをつとめた青年が思いつめた表情で駆けつけ、残ってほしいと懇願する。アメリカに夫や子供たちが待つ彼女は帰らなければならぬ。せめて愛のひとときをとの願いでひと列車遅らせ、ひと気かない車内で愛は激しく燃えさかる。出てゆく列車に追いつかって走る青年は、放心状態となって見送る。愛を演じては並ぶものがいない「慕情」のジェニファー・ジョーンズと、世界女性ファンのあこがれを一身に集めたモンゴメリー・クリフトが共演、ヴィットリオ・デ・シーカ監督は現実とドラマの時間を一致させたりアルタイムで愛の成り行きをキメ細かに見つめてゆく。「ウエスト・サイド物語」のリチャード・ベイマーが青年の甥の役で出演。

(1時間29分)

オルフェ

ORPHEE

死の女神は若き詩人オルフェに魅せられ、オルフェの友人をオートバイでひき殺させ、オルフェに同乗を命じて現代のパリから死の世界に連れこもうとする。車外の景色は白と黒を逆にしたネガの風景に変わる。妻を愛するオルフェは鏡にはばまれて死の世界に入ることができない。パリへ戻ったオルフェの枕もとに、死の女神は夜ごとに鏡を抜けて立ち、気持ちをそそる。夫に見捨てられたと思った妻はバイクにはね飛ばされ、妻のあとを追うオルフェは鏡を抜けて死の世界へ入りこむ。妻を見てはいけないと条件つきで生き返った妻を現世へ連れ帰ったオルフェの仲むつまじい姿。それを見た死の女神はオルフェを殺して死の世界の入り口で待ちうける。しかし、愛に勝るものはなかった。ギリシャ神話から生と死とのファンタスティックな世界を自由奔放な映画表現でくりひろげ、時代を経過するとともに新鮮な驚きをたたえて現代によみがえった。

(1時間37分)

美女と野獣

LA BELLE ET LA BETE

かぐわしいワインのように、芳醇なファンタジーの魅惑に包みこんでしまう映画史上の名作。夜道に迷った商人は無人の城で一夜を明かす。そこは扉も燭台もひとりでに動く不思議な城。翌朝、美しいバラを見て未娘ベルのために摘みとると、城の主である恐ろしい野獣が現われ、お前の命か身代わりに娘をよこせと要求する。心やさしいベルは父のために戸獣の城へゆき、野獣との間に愛がはぐくまれてゆく。貴婦人のように着飾り、山のような宝石をつけて戻ってきたベルを見た虚榮心の強い姉、兄とベルの恋人们は、城から宝物を盗み出そうと計画する。盗もうとした瞬間、矢があたった恋人は野獣の姿になり、呪いが解けた野獣は王子の姿に戻り、めでたくベルと結ばれる。流麗で神秘的な映画アート、凝った映画マジックと素晴らしい特殊メイク。クラシック名作の醍醐味だ。コクトーが発見したジャン・マリーは野獣と恋人の2役を演じ、のちにフランス映画を代表する大スターになった。

(1時間36分)

●前売鑑賞券発売中!!一般・学生1,200円/2回券2,200円(当日/大人1,500円・学生1,300円)

終着駅	3/5(土)▶3/18(金)	11:15	1:00	2:45	4:30	6:15
オルフェ	3/19(土)▶4/2(土)	10:55	12:45	2:35	4:25	6:15
美女と野獣	4/5(火)▶4/22(金)	10:55	12:45	2:35	4:25	6:15

※3月9日(水)、10日(木)の11:15の回は貸切となります。

三越ロイヤル・シアター

八重洲1丁目 日本橋三越より徒歩2分 電話/03-272-2671